

第2回 武蔵村山市緑化審議会 会議録

会議名	武蔵村山市緑化審議会（第2回）
日時	平成24年7月31日（火） 14時00分～16時30分頃
出席者	○緑化審議会委員（8名出席） 宮林茂幸委員 比留間正誼委員 細岡晃委員 瀬上和恵委員 布田傑委員 網代準一委員 高橋勇治委員 吉野正博委員 ●事務局 山田建設管理担当部長 神子道路公園課長 指田公園緑地G主査 田中技師 緑の基本計画委託業者（国際航業株式会社）谷口理意 亀島勇児

【会議内容】

会議次第	□議題 議題1 現状の緑の課題整理について 議題2 改訂の視点整理について 議題3 計画の基本方針について 議題4 その他
会議要旨	議題1 現状の緑の課題整理について ○審議会委員発言 ●事務局職員発言
議 題	会長 定数の過半数以上ですので、会議に入ります。 議題1の現状の緑の課題整理について事務局から説明願います。内容が長いので章ごとに区切りながら審議をいたします。 ● 現状の緑の課題整理 緑の基本計画改訂の背景について説明。 会長 説明内容について質問、意見はありませんか。 改訂の背景の中で「生物多様性」についても入れるようにした方がよい。 ● 入れるようにします。 ○ 改訂の背景の中に「防災」についても入れた方がよい。防災の内容は地域防災計画に記載されている内容になると思われる。 ● 入れるようにします。 ○ P2の「制度上安定した緑地」はどこにあるのか。 ● 近郊緑地保全区域は、市の北部の都立野山北・六道山公園をほぼ被って位置しています。保安林は残堀川沿いの山王森公園に隣接してい（削除）あります。農地を守るための防風保安林です。 ○ 「つちかう」「はぐくむ」などひらがな表記だが、漢字の方が読みやすいのではないか。またP2の「社会通念上安定した緑地」に高校の記載が

ないが入れた用がよい。

- 漢字の表記、高校については精査して対応します。
- P1の「オープンスペース」の意味を教えてください。
- 公園など市民が使える広がりのある場所のことです。

会長 以上の指摘事項を修正するということで、承認していただけますか。

よろしければ次の説明をお願いします。

- 現状の緑の課題整理 緑の現状について説明。

会長 説明内容について質問、意見はありませんか。

P3以降の「施策の取り組み状況」については計画書本編に載せるのですか。

- 今後検討いたします。
- 生産緑地地区の買取状況はどうなっているか。
- 担当課は都市計画課が対応しています。買取り申し出があった場合は協議をして決定しています。実績としては中藤で生産緑地地区1件の借地を行っています。

○ 「農地の保全」というのは、生産緑地地区の買取りを進めるということか。

- 農地のうち、市街化調整区域内農地（多摩開墾）は農地として保全を進める方針です。生産緑地地区については、買取り申し出があった場合は買っていきたいが、現実的には難しい状況です。

会長 今後の人口減少が予想されている中で、農地保全の方向性をどうするか検討が必要だ。後継者のいない農地について利用者を斡旋する「農地バンク制度」などが考えられる。農地の問題は今後の重要な問題です。

○ 農地減少の問題は税制の問題である。市街化区域内の農地は減少していくと思う。

○ 後継者がいるかどうか大きな要因である。

○ 生産緑地地区の借地（市民農園としての活用）は可能か。

- 市民農園として貸す場合、農地所有者が農業指導等を行っていただければよいですが、単に農地を貸すだけでは従事者証明が出ない場合があり、その調整が難しいようです。

○ 各学校の学校農園の状況は把握しているか。

- 全ては把握していません。

会長 農地保全については、農地の活用方法の具体的な事例をあげて、農地減少を食い止める方策としていくのがよい。

緑のネットワークについては、街路樹による道路ネットワークもよいが、散歩ネットワークをつくるのは面白くてよいと思う。

○ P3の公園の整備量とは何か。また都市計画決定面積とは何か。

● 整備量とは実際に公園として整備を行った面積です。都市計画決定面積とは計画決定しているが整備を行っていないものが多数あり、都市計画決定面積が250haに対して、整備面積が120haです。

○ 学校芝生化を進めているようだが、整備して2,3年後どうなるのかとの話がでている。

会長 草地化してしまうということか。

● これまで、学校芝生化事業を担当していますが、草地化してもよいと考えています。しかし維持管理は難しい問題です。

○ 校庭芝生化や学習農園は、学校側だけになると厳しいと思う。

会長 ボランティア制度を活用してはどうか。

● 学校の芝生整備のボランティア団体であるグリーンサポーター制度を立ち上げ運営はしています。

会長 ボランティア制度については、グループ分けを行って段階的に育成して、ボランティアにやる気、達成感、役割分担を持たせるなど、市民の中に入っていく仕組みを作らないと機能させるのは難しい。

○ 文言でいくつか確認がある。P4の市条例の保存樹林は平地部にしかないで「特に」はいらぬ。P5「市立小中学校」とあるが、他のページでは「小中学校」とあり、整合をとる。P5 残堀川の写真があるが川に見えないので別のよい写真に差し替える。P6「大南樹林」とあるが「西大南樹林」が正式名称である。P7「いつくしみ」とあるが「いつくしむ」ではないか。

● P4の平地部に特にしたのは「西大南樹林」を意識したためです。その他のご指摘は精査しまして修正します。

○ P5の河川改修の具体的な内容を教えてほしい。

● 現状のコンクリート板を石積みにするとか、底部のコンクリートを改修して生態系が保たれる自然型するなどです。

○ P8の文章は、接続詞が足りないため読みにくい。

● 精査して修正します。

会長 「仕組みづくり」という表現がたくさん出ている。これが今回の改訂のポイントであると思う。よろしければ次の説明をお願いします。

● 現状の緑の課題整理 緑に関する市民の意識、緑の現状について説明。

● アンケート調査結果は本編に掲載するか、資料編に入れるかの協議もお願いいたします。

○ 円グラフのパーセントや緑の現状の表の数値の集計値があてない。

● 四捨五入の関係から一部集計値が合わないものがあります。本編に掲載するものについては修正します。

会長 計画目標年度の平成35年の人口はどのように算出するのか。

- 長期総合計画、まちづくり基本方針で人口予測を行っているので、そちらの数値と整合をとります。
- 緑の現況の「草地」はどここの草地か。
- 主なものは日産工場跡地の草地、横田基地、都営村山団地内の草地です。
- 他市の公園の整備状況を教えてほしい。
- 平成24年4月1日現在で、公園の1人当たりの整備面積は東京都市部では最も大きく、17.51 m²/人です。
- 武蔵村山市の特徴であることから本編に掲載した方がよい。
- 掲載するようにします。
- 地図を載せるのであれば、地理的な関係が分からない人にも理解できるように、主な地名、地物、道路名称を掲載した方がよい。
- 追記するようにします。
- P12の緑の現状の説明文では市街化区域の農地の全てが生産緑地地区に指定されているように読めてしまう。
- 文章を精査して修正します。

会長 以上の指摘事項については精査の上、修正をお願いします。
よろしければ次の説明をお願いします。

- 現状の緑の課題整理 緑の課題について説明。

会長 課題については何がメインになってくるかによって書き方は変わってきます。意見、質問があればお願いします。

- 緑の課題については、これからの計画の方向性を定める上では重要な内容である。施策の取り組み状況にも課題が示されており、かなり重複感があったが、この課題は次の視点につながる整理されたものである。それから考えると緑の現状につながる「2-4」ではなく、「3」とすべきではないか。P19の下に「みどりのまちづくり」とあるが、以降いろいろなところで出てきている。課題の内容は緑の現状から整理された課題だけではない内容を含んでいる。そのため分かりにくいのが正直なところである。次の視点へも引き出せないと思う。

会長 計画へ向かっての意気込みを述べている部分であるので、もう一段上の章に持って行った方がよい。次につなげるためにもってくるのであれば、現況の課題というよりは、まさに改訂の視点である。住民参加の問題、協働の問題、仕組みづくりの問題を前面に出して、拠点の問題と身近な緑の問題を出すと計画に対する意気込みが見えてくるのではないか。ここに来てまた課題がくると、読んでいる方が戸惑うのではないか。その他、内容について意見はありますか。

- 東京都で一番緑の多い市と言うのは衝撃だった。また、市民意識の把握として、アンケート結果から自宅周辺の緑は減少していると感じている市

民が多いというのは本当のことだと思う。緑化キットを配布するなど、個人の緑化の努力もされている。このように個人サイドで出来る緑化の取り組みなどからも、身近な問題として緑を捉えるようになった現れだと思う。いい回答を出していけば、これらの課題もいい方向に行くのではないかと思う。

会長 まさに課題の整理が重要であるということだ。他にありますか。

○ 「拠点となる緑の保全」の中で点在する農地群とか農地群を拠点として捉えるとあるが、多摩開墾をはじめとした市内に点在する農地は非常に広い範囲の農地と言うことになるが、どう言うことか。

● 多摩開墾は緑の拠点として位置づける予定です。また、新青梅街道沿いには多くの農地の分布があるので農地群として捉えているので、文章が分かりにくいのは修正します。

会長 大きく言えば農地群は全部緑として位置づけて、農業振興と緑の保全を一体化するとよい。地産地消のように、農業が産業として成り立てば農地は減らない。そんな意識を持つことも必要ではないか。拠点をどのように捉えるかについては、公園とか公共緑地を拠点として捉えることが多いが、もう少し違う意識があるのかと思う。これについては、後の問題の関わりとして修正するようにしてはどうか。

それでは、この課題の部分については、委員から意見があったように格上げをして、次の章の入口論として、その後、具体的なイメージとか基本方針につなげてはどうか。

● 変更いたします。大きな「くくり」にして内容も精査します。

議題2 改訂の視点整理について

会長 改訂の視点整理について説明をお願いします。

● 改訂の視点整理について説明

会長 今回の改訂のポイントは「再認識」することで「緑の質の向上」を目指す、そのためには「仕組みづくり」が必要で、主体となるのは「リーダーづくり」である。これに対応していくのが「生物多様性確保」である。何か意見はありますか。

○ 市内には自然保護団体があるのではないか。そのような団体とも連携できないか。

● 河川連絡会に市も出席しているが、多くの自然保護団体も出席しています。自然保護団体との協働も可能と思われます。

会長 参加・協働に「団体」も追加した方がよい。多様なセクターが関わって、協働するということだ。次の議題に入ります。

議題3 計画の基本方針について

会長 計画の基本方針についての説明をお願いします。

● 計画の基本方針について説明

会長 将来イメージは改訂の視点とあっているのが一番である。「再認識」「緑の質の向上」「協働と参加」「人づくり」の内容が含まれているのがよい。視点の理念をうまく組み入れてつけれないか。

○ 信頼がなくては、絆は出来ないから「信頼」はいらぬのではないか。そこに「協働」を入れたらどうか。これからは協働社会という考えが必要だ。

○ 「市民との～」とあるが誰と市民の協働なのか。

会長 広く市民ということなので、「との」を除いて「市民協働」とすればよいのではないか。「豊かな自然の武蔵野の大地に 市民協働と絆でつくりだす 夢広がる緑のまち むさしむらやま」など視点を踏まえたキャッチを再度検討してほしい。他にありませんか。

○ 1行目の「第4次」を漢数字に修正する。

● 修正いたします。

会長 次に緑の基本理念について説明をお願いします。

● 緑の理念について説明

会長 理念に書かれている内容が課題の部分を重複しているため、課題と理念を合わせてはどうか。全員が読むところなので減っているというショッキングな内容が入り、このままでは減っていくからみんなで保全していこうという内容になる。課題の部分で重複している内容があるが、こちらでまとめるとすっきりするのではないか。

● 重複する部分も多いので、内容を精査して構成を修正いたします。

会長 よろしいでしょうか。次に計画の基本方針の説明をお願いします。

● 計画の基本方針の説明

会長 基本方針では「郷土の緑の保全」が「再認識」と対応し、「水と緑のネットワーク形成」が「緑の質」と、「協働による緑のまちづくり」及び「まちなかの緑の充実」が「協働・参加」に対応している。改訂の視点の「人づくり」の方針が足りないのを追加すると、改訂視点と理念・方針が整合してくる。「人づくり」の内容としては緑の学校、ボランティア養成講座、緑の市民大学などがある。また、学校教育、社会教育、企業教育等との連携が考えられる。全体の流れとしてはよいのではないか。

○ 文言でP22で「はぐぐんで」が重複しており読みにくい。水と緑のネットワーク形成の内容は事業主体が東京都であるため、東京都に代わって市が行うように読み取れる。「都と協働で行う」との一文が必要である。

○ 狭山丘陵も同様である。都に要請とか協働などの一文が必要である。

- 文章の表現については精査して修正します。
 - 方針で写真が紹介されているが、あまりよい写真ではない。もっと整備されてよい写真がある。写真を工夫してほしい。写真の名称も工夫がほしい。
 - 写真は差し替えます。
 - 緑の将来図について、海道緑地保全地域は都条例であるが、凡例では条例となっており、市の条例と都の条例があることが分かりにくい。
 - 市の保全樹林と都の保全地域を含んでいますが、分かりやすいように精査します。
 - この図面の時点はいつか。生産緑地地区は解除されたものが含まれているのではないか。
 - 平成24年1月時点のデータですが、図面に時点を記載します。
 - 都と市の関係については、河川改修の都の動向を確認した上で計画書に反映した方がよい。より積極的な書き方をするのではあれば、管理者に確認をしたほうがよい。また、一般の人には分かりにくい用語が出てくるので、用語解説を入れてほしい。
 - 東京都とは計画書全ての内容について協議をする予定です。その際、関係部署に確認をいたします。また用語解説は巻末にまとめて入れるか、各ページに入れるかは今後検討しますが、用語解説は入れる予定です。
- 会長 最後の施策体系は、基本方針が修正されるので、修正した基本方針に合わせて施策体系の修正を行ってほしい。全体の流れの中で他に意見はありませんか。次の議題に入ります。

議題4 その他について

会長 その他についての説明をお願いします。

- 狭山丘陵内への土砂搬入について説明。
- 今後の予定ですが、緑化審議会は10月中旬に第3回、11月中旬に第4回を開催する予定です。

会長 以上でよろしいでしょうか。ありがとうございます。

他になければ、本日の審議会を終了いたします。

- ありがとうございました。

配布資料

- (1) 第2回武蔵村山市緑化審議会会議次第
- (2) 第2回緑化審議会資料
- (3) 今後の予定について

備 考	<p>◆第3回武蔵村山市緑化審議会開催日について</p> <ul style="list-style-type: none">・平成24年10月10日(水)、17日(水) <p>◆第4回武蔵村山市緑化審議会開催日について</p> <ul style="list-style-type: none">・平成24年11月6日(火)、7日(水) <p>第2回緑化審議会において、日程調整を行い開催日(案)が出されたが、会議開催日は、早めに会長と連絡調整を行い決定する。</p>
-----	---